

一般財団法人 先端加工機械技術振興協会 令和7(2025)年度事業報告書

令和7(2025)年4月1日から令和8(2026)年3月31日まで

I 先端加工機械技術に関する研究助成

本年度は助成申請件数が23件あった。8月下旬から各審査委員による事前の書面審査を行っていただき、10月7日(火)に審査委員が集まって事前審査結果を基に意見交換を行い、厳正かつ慎重な審議を行った結果、下記の10件が本年度の助成対象の候補と決まった。10月上旬に理事長の承認を得て正式決定し、11月に研究助成金(10件総額910万円)を申請者の所属機関に送付した。

- ①「完全自動ナノ精度ミラー加工システムの開発」
・ 本山 央人氏 (東京大学 特任講師) (100万円)
- ②「電磁圧接を用いた金属板の高度衝突による異種金属固相接合とそのメカニズム解析」
・ 糸井 貴臣氏 (千葉大学 教授) (80万円)
- ③「金属ガラス箔を用いた積層板材の拡散接合による高強度チタン合金部材の試作」
・ 山本 篤史郎氏 (宇都宮大学 准教授) (100万円)
- ④「レーザ誘導照射による放電位置制御と強制放電分散の鏡面化効果」
・ 武沢 英樹氏 (工学院大学 教授) (100万円)
- ⑤「可溶性フィラを用いた多孔質レーザ焼結部品における空孔構造制御のための積層ピッチ最適化に関する研究」
・ 藤井 紘一氏 (東京都立産業技術研究センター 研究員) (100万円)
- ⑥「二段階 Laser Metal Deposition 法によるタングステンカーバイド粒子の高密度・均一分散制御を通じた局所強化技術の開発」
・ 福山 遼氏 (神奈川県立産業技術総合研究所 研究員) (100万円)
- ⑦「エアブロー高圧化によるチタン合金のMQ Lエンドミル加工における工具寿命延長効果の拡大」
・ 近藤 弘康氏 (栃木県産業技術センター 主任研究員) (100万円)
- ⑧「垂直多関節ロボットによる新型高能率MCF加工液を用いた穴内面マイクロ加工法の開発研究」
・ 山本 久嗣氏 (富山高等専門学校 准教授) (75万円)
- ⑨「固定砥粒ワイヤ工具による次世代半導体材料切断に関する研究」
・ 大賀 亮氏 (長崎大学 大学院生) (75万円)
- ⑩「低環境負荷と高スループットを両立する酸化物デバイス加工技術の開拓」
・ 川江 健氏 (金沢大学 准教授) (80万円)

II 先端加工機械技術の動向に関する調査研究

今後の我が国のものづくり産業の基盤となる先端加工機械技術の動向調査を実施するとともに、加工関連の企業(主に中小規模企業)・団体(地方公設機関等)・個人を活性化・強化することを旨として平成27(2015)年に設置した「先端加工研究会」は、企業14社、個人

6名となった。本年度は以下の活動を行った。

- ・ 6月5日(木) にナルックス株式会社の山崎工場(大阪)を訪問し、工場見学の後、代表取締役社長を取材した。
- ・ 8月26日(火)、9月2日(火)の午後、中小製造業のためのセキュア生成AI導入セミナー(講師：森和男専務理事)をオンライン形式で実施した。
- ・ 9月10日(水) に株式会社三ツ矢 五反田プラントの見学会を開催し、会員企業の社員など10名の参加者があった。
- ・ 10月24日(金) に株式会社オータマ茨城友部工場の見学会を開催し、会員企業の社員など7名の参加者があった。
- ・ 2月26日(木) 27日(金)に、岡山県の安田工業株式会社と株式会社山本金属製作所・岡山研究開発センターを訪問し、工場見学の後、代表取締役社長を取材した。
- ・ 品質工学会の研究発表大会(7月と11月に開催)、及び新鋭経営会の経営知恵サロン「無関」のオンライン講演会(年に数回開催)に協賛し、研究会会員企業に参加を呼びかけ、各々少数の参加者があった。

その他メール等を活用して関連分野の表彰制度や各種補助金公募などの情報提供や相談など、会員間の情報交換は活発に行った。

Ⅲ 研究成果等の普及

(1) 機関誌の発行

最新技術の紹介、研究助成の成果等を掲載する機関誌「先端加工技術」を例年通り3回発行し、各方面に配布した。

第126号：令和7(2025)年7月「AI活用で進化する研削加工のスマート化技術」

巻頭言、技術紹介4件、令和4年度研究助成成果報告1件

元気なものづくり中小企業訪問 訪問記⑮

ナルックス株式会社 代表取締役社長 北川清一郎様

第127号：令和7(2025)年11月「機械加工におけるデジタルツイン活用の現状と展望」

巻頭言、技術紹介4件、令和5年度研究助成成果報告3件

第128号：令和8(2026)年2月「複合材料のこれまで、現在、そして将来への期待」

巻頭言、技術紹介4件

Ⅳ その他

加工技術に関連する各種団体等が主催する行事に協賛するとともに、各種委員会に委員として参加し、加工技術の発展と普及に努めた。

Ⅴ 管理運営について

1. 理事会

(1) 第29回理事会

令和7(2025)年6月10日(火) 提出議案の審議並びに報告を行った。

- ・ 令和6(2024)年度事業報告及び決算
- ・ 公益目的支出計画実施報告書等
- ・ 第13回定時評議員会の開催

- ・令和7(2025)年度事業計画・収支予算
- ・令和5(2023)年度研究助成の成果報告
- ・職務執行状況報告

(2) 第30回理事会

令和8(2026)年3月23日(月) 下記の提出議案を審議していただいた。

- ・令和7(2025)年度事業報告および決算見込(中間報告)
- ・令和8(2026)年度事業計画案および収支予算案
- ・職務執行状況報告
- ・役員改選に伴い評議員・理事・監事候補者、各委員会委員委嘱について

2. 評議員会

(1) 第13回評議員会

令和7(2025)年6月23日(月) 下記提出議案を審議していただいた。

- ・令和6(2024)年度事業報告及び決算
- ・公益目的支出計画実施報告書等
- ・令和7(2025)年度事業計画および収支予算
- ・令和5(2023)年度研究助成の成果報告

3. 委員会

(1) 研究助成審査委員会

令和7(2025)年度の研究助成対象者を選考するための研究助成審査委員会

(5名で構成)は、申請のあった23件に対して8月下旬からの事前書面審査の結果を基に10月7日(火)に開催して、前記の10件の助成について全員合意を得ることができた。

(2) 機関誌編集委員会

編集委員4名と事務局2名で、編集委員会を下記の通り3回開催した。本年度も経費節減のため、自主的編集作業を行った。

- ・第1回編集委員会：令和7(2025)年7月8日(火)
- ・第2回編集委員会：令和7(2025)年10月28日(火)
- ・第3回編集委員会：令和8(2026)年2月13日(金)

4. その他

1. 令和7(2025)年6月27日(金)付で、内閣府に公益目的支出計画実施報告書等を提出した。
2. 賛助会員：令和8(2026)年2月23日現在の会員数は2社(3口)である。

以上

内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない。